

# 2008年度環境アセスメント学会第7回大会案内

2008年度環境アセスメント学会第7回大会を下記のとおり開催します。

## ○ 開催概要

開催場所：大阪市立大学 杉本キャンパス 学術情報総合センター 10F  
(JR 阪和線 杉本町駅より東へ徒歩約5分)

開催日程：2008年9月12日(金)～13日(土)

### ◆ 2008年9月12日(金)

開会式 (LA 教室)	9:30～9:45 (受付 9:00～)
研究発表会 (1日目)	10:00～12:15 13:00～16:40
懇親会	17:00～19:00 (受付 16:50～)

### ◆ 2008年9月13日(土)

研究発表会 (2日目)	9:30～11:20 (受付 9:00～)
奨励賞受賞記念発表	11:30～12:00 名古屋大学 林希一郎氏
シンポジウム	13:20～17:00

テーマ：「環境影響評価法の見直しに向けて－不確実性の取扱いを中心に－」  
コーディネータ：浅野 直人 (環境アセスメント学会前会長・福岡大学)  
パネルディスカッション

## ○ 参加方法

「2008年度環境アセスメント学会第7回大会参加申込書」に必要事項をご記入の上、「2008年度環境アセスメント学会大会事務局 (参加申込書参照)」までご送付下さい。

締め切りは**2008年9月2日(火)**です。

当日参加も可能です。大会参加費は当日大会受付にてお支払い下さい。

## ○ 参加費

大会参加費：正会員・公益会員・賛助会員 4千円  
学生会員・協力会員 2千円  
会員外 5千円  
2008年度研究発表会要旨集代 (会員外)：2千円  
懇親会費：4千円

## 研究発表・奨励賞受賞記念発表 プログラム

### (1) 大会1日目9月12日(金)

#### 午前の部 10:00~12:15

第1会場: S A教室

セッション1「国内事例・海外事情」座長(柳 憲一郎)

1	10:00~10:25	開発事業におけるHEPへの市民参加と課題・仮称上郷開発事業の事例 ○中塚 隆雄(瀬上の森パートナーシップ(SMP))
2	10:25~10:50	諸外国における自然立地のノーネットロス政策の現状 ○田中 章, 大田黒 信介(武蔵工業大学)
	10:50~11:00	休憩
3	11:00~11:25	アジア諸国の産業化と環境アセスメント制度—後発 ASEAN の経験 ○藤崎 成昭(東北大学)
4	11:25~11:50	米国の SEA 国有林管理計画における参加制度と参加モデルの変遷 ○古郡 ゆう子, 原科 幸彦(東京工業大学)
5	11:50~12:15	インドネシアの一般廃棄物法と環境アセスメント ○作本 直行(日本貿易振興機構)

第2会場: S B教室

セッション2「モニタリング, 予測・評価手法(1)」座長(西村 正直)

1	10:00~10:25	小型ヘリを活用した低コスト空撮モニタリング —沿岸域での事例紹介— ○日野 博幸(スカイマップ株式会社), 重松 孝昌(大阪市立大学)
2	10:25~10:50	瀬戸内海における超長期的生態系・景観モニタリング手法の検討 ○市村 康(日本ミクニヤ株式会社)
	10:50~11:00	休憩
3	11:00~11:25	自然環境の定量的予測手法支援サイトの開設に関する活動報告 ○榎田 健三郎((社)日本環境アセスメント協会 研究部会 自然環境影響評価技法研究会)
4	11:25~11:50	大阪湾における環境情報の共有化および市民連携について ○王丸 冬二, 細川 恭史((財)港湾空間高度化環境研究センター), 平澤 充成, 藤原 敏晴(近畿地方整備局)

#### 午後の部 13:00~16:40

第1会場: S A教室

セッション3「制度, 政策」座長(石川 公敏, 田中 充)

1	13:00~13:25	「環境アセスメント制度」のイメージに関する研究 ○持木 克之(埼玉県)
2	13:25~13:50	普天間飛行場代替施設と諫早干拓 —環境影響評価法10年を前にしての危機を憂える— ○島津 康男(元名古屋大学)
	13:50~14:00	休憩
3	14:00~14:25	ODA における環境社会配慮のあり方 —新 JICA のガイドライン改定を例に— ○原科 幸彦(東京工業大学)
4	14:25~14:50	ODA の環境社会配慮における参加と討議 ○二宮 浩輔(九州共立大学)

5	14:50~15:15	環境アセスメントにおけるコミュニケーターの活用について ○長澤 哲也, 吉田 俊幸, 尾上 健治, 折原 輝彦, 石橋 陽一郎 ((社)日本環境アセスメント協会 教育研修委員会コミュニケータ普及 WG)
	15:15~15:25	休憩
6	15:25~15:50	自治体における戦略的環境アセスメント制度の導入過程に関する一考察 ○杉本 卓也, 原科 幸彦(東京工業大学)
7	15:50~16:15	河川事業への環境アセス法適用に関する評価 ○政野 淳子, 原科 幸彦(東京工業大学)
8	16:15~16:40	環境影響評価法の改正の方向性について ○倉阪 秀史(千葉大学)

第2会場: SB教室

セッション4「保全, 予測・評価手法(2)」座長(畠瀬 頼子, 細川 恭史)

1	13:00~13:25	計画・プログラムに適用される NEPA の代替案の検討に関する研究 ○伊東 英幸, 林 希一郎(名古屋大学)
2	13:25~13:50	乾燥化の進んだ都市域における二次林の復元手法に関する研究 ○高崎 大輔, 田中 章(武蔵工業大学)
	13:50~14:00	休憩
3	14:00~14:25	ランドスケープ保全に向けた Web GIS の活用方法と課題 ○白坂 僚, 田中 章(武蔵工業大学)
4	14:25~14:50	大阪南港野鳥園での環境教育と湿地保全の取り組みについて ○石井 正春(大阪南港野鳥園), 矢持 進(大阪市立大学)
5	14:50~15:15	大阪南港野鳥園北池・南池での優占海藻の繁茂について ○武田 尚大, 矢持 進, 西川 智貴(大阪市立大学)
	15:15~15:25	休憩
6	15:25~15:50	英虞湾の干潟の変遷と底質, 底生生物への影響 ○国分 秀樹(三重県水産研究所), 矢持 進(大阪市立大学)
7	15:50~16:15	干潟底質環境の変動に伴う底生生物群集の変化予測手法の一提案 ○大谷 壮介, 上月 康則, 山中 亮一, 酒井 孟, 藤木 洋二(徳島大学)
8	16:15~16:40	内湾の藻場に与えるウニ類の影響と藻場の維持・管理について ○金子健司((株)日本海洋生物研究所), 米田佳弘(関西国際空港株式会社), 今尾和正((株)日本海洋生物研究所)

## (2) 大会2日目9月13日(土)

午前の部 9:30~11:20

第1会場: SA教室

セッション5「保全, 調査・予測」座長(市村 康)

1	9:30~9:55	景観保全を目的とした道路案内標識の設置方法に関する研究 ○石田 眞二, 亀山 修一(北海道工業大学), 松田 泰明, 三好 達夫((独)土木研究所)
2	9:55~10:20	咲洲キャナル水質改善策検討および試験施工実施業務 ○木村 和也(日本ミクニヤ株式会社)
	10:20~10:30	休憩
3	10:30~10:55	閉鎖性内湾の港湾エリアにおける底質の酸素消費特性に関する研究 ○水田 圭亮, 重松 孝昌, 遠藤 徹(大阪市立大学)
4	10:55~11:20	環境アセスメントにおける大気質予測の3次元数値モデルの適用性 ○市川 陽一((財)電力中央研究所)

第2会場：S B教室

セッション6「生態系評価」座長（田中 章）

1	9:30~9:55	戦略的環境アセスメント(SEA)における HEP 活用可能性に関する検討 一里山生態系を対象としたケーススタディー ○横田 樹広, 伴 武彦, 青島 正和, 磯田 真紀, 佐口 利一, 則行 雅臣, 吉田 馨 ((社)日本環境アセスメント協会 研究部会 自然環境影響評価技法研究会)
2	9:55~10:20	HSI モデルを用いたハルリンドウ ( <i>Gentiana thunbergii</i> ) の遺伝的多様性保全のための環境要因評価 一土岐川・庄内川流域圏の持続的管理・保全のための生物多様性ポテンシャル評価に向けて(1)ー ○味岡 ゆい(中部大学)
	10:20~10:30	休憩
3	10:30~10:55	岐阜県東濃地方におけるヒメタイコウチ ( <i>Nepa hoffmanni</i> ) の生息環境に関する SI モデルの構築 一土岐川・庄内川流域圏の持続的管理・保全のための生物多様性ポテンシャル評価に向けて(2)ー ○中村 早耶香(中部大学)
4	10:55~11:20	アカネズミ ( <i>Apodemus speciosus</i> ) の環境要因別 HSI モデルの比較検討 一土岐川・庄内川流域圏の持続的管理・保全のための生物多様性ポテンシャル評価に向けて(3)ー ○大畑 直史(中部大学)

**奨励賞受賞記念発表** 11:30~12:00 LA教室

司会：原科 幸彦

林 希一郎氏 「環境アセスメント制度の多様性と国際比較」

---

## シンポジウム「環境影響評価法の見直しに向けて」

---

### ○ 趣旨

環境影響評価法の制定から10年が過ぎ、その不確実性の取扱いを中心に、制度や技術的問題点と今後の課題について検討する。

### ○ 日時と会場

2008年9月13日(土) 13:20~17:00

大阪市立大学 杉本キャンパス 学術情報総合センター10F LA教室

### ○ プログラム

- ・開会 13:20
- 趣旨説明 13:20~13:40  
浅野 直人 (福岡大学 環境アセスメント学会前会長)
- パネリスト
- 1. 地球環境的視点(温暖化)からの問いかけ 13:40~14:00  
柳 憲一郎 (明治大学法科大学院)
- 2. 自然環境分野(生物多様性)における不確実性 14:00~14:20  
夏原 由博 (京都大学大学院地球環境学堂)
- 3. 生活環境分野における不確実性 14:20~14:40  
並河 良治 (国土交通省国土技術政策総合研究所)
- 4. 事業主体の立場からー関西国際空港の事例ー 14:40~15:00  
藤田 眞一 (関西国際空港株式会社 環境グループ)

- |   |             |
|---|-------------|
| 5. 環境コンサルタントの立場から<br>中西 敬（総合科学株式会社）                                       | 15:00～15:20 |
| 6. 行政実務での不確実性への対応<br>中西 重二（大阪府環境農林水産部環境管理室環境保全課アセスメントグループ）                | 15:20～15:40 |
| 休憩（10 分間）   | 15:40～15:50 |
| 7. パネルディスカッション<br>コーディネータ：浅野直人（福岡大学）<br>パネリスト：<br>（会場でのやりとりを含めてのディスカッション） | 15:50～17:00 |
| ・ 閉会  | 17:00       |

○ **参加方法**

事前申込の必要はありません。どなたでも参加できます。

○ **参加費**

シンポジウム資料は 2008 年度研究発表会要旨集に含まれています。

### 懇親会

2008 年度環境アセスメント学会第 7 回大会に参加していただいた方々の交流の場として、下記の通り懇親会を開催します。皆様、奮ってご参加下さい。

○ **日時と会場**

2008 年 9 月 12 日（金）17:00～19:00（受付 16:50～）  
大阪市立大学 杉本キャンパス 学術情報総合センター1F ウィステリア

○ **参加方法**

「2008 年度環境アセスメント学会第 7 回大会参加申込書」に必要事項をご記入の上、「2008 年度環境アセスメント学会第 7 回大会事務局」までご送付下さい。締め切りは 2008 年 9 月 2 日（火）です。当日参加も可能です。懇親会費は大会参加受付時に大会参加費と一緒に支払い下さい。

○ **懇親会費**

4 千円（会員、会員外ともに）

### 最寄のホテル

会場へ比較的行きやすい杉本町及び天王寺周辺地域のホテルを一部記載いたします。なお、当学会では宿泊の斡旋は行っておりません。ご予約はご自身でお早めに確保をお願いします。

**杉本町周辺**

○ 関西研修センター（KKC） 大阪市住吉区浅香 1 丁目 7-5      06-6690-2670

**天王寺周辺**

○ 天王寺都ホテル      大阪市阿倍野区松崎町 1-2-8      06-6628-3200

○ アパホテル（天王寺駅前） 大阪市阿倍野区阿倍野筋 1-4-1 1      06-6645-9111

○ グリンヒルホテル      大阪市天王寺区茶臼山 1-2 1      06-6773-0077

\* 関西研修センターにお申込みの場合、大阪市立大学で開催される環境アセスメント学会参加の為に伝えて下さい。

## 交通のご案内

大阪市立大学 杉本キャンパス 〒558-8585 大阪市住吉区杉本 3-3-138

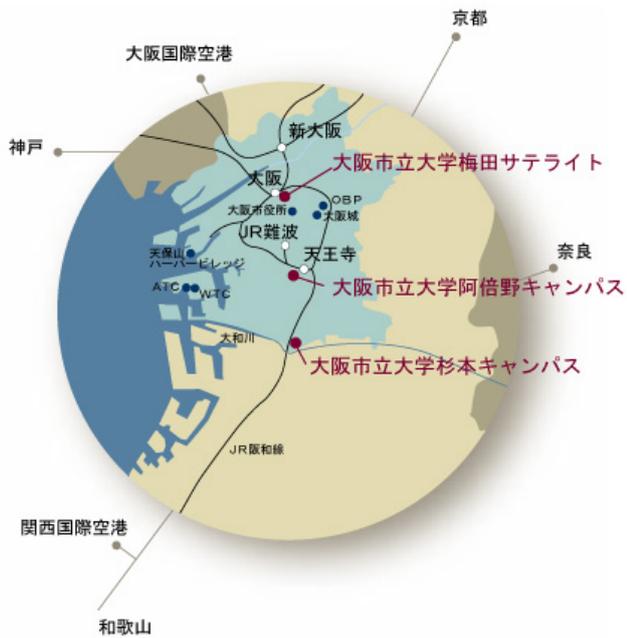
○ JR利用の場合

JR 阪和線「杉本町(大阪市立大学前)駅」下車、東へ徒歩約 5 分

○ 地下鉄利用の場合

地下鉄御堂筋線「あびこ駅」下車、4号出口より南西へ徒歩約 20 分

### 大阪周辺地図



### 杉本キャンパス周辺地図



